

【開発品情報】

前回の決算発表時(2016年7月29日)からの変更箇所到下線

1. グローバル開発品

(1) 申請

*共同研究により創出された化合物を含む(以下同様)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社*/ 導入	備考
MDV3100 エンザルタミド	アンドロゲン受容体 阻害剤	転移性去勢抵抗性 前立腺がん (錠剤)	欧州 申請 (2016年3月)	経口	Medivation	剤形追加
		去勢抵抗性前立腺がん (錠剤)	日本 申請 (2016年9月)			

(2) 第Ⅲ相～第Ⅱ相(1/2)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
MDV3100 エンザルタミド	アンドロゲン受容体 阻害剤	非転移性去勢抵抗性 前立腺がん	米国/欧州/アジア P-Ⅲ	経口	Medivation	効能追加
		非転移性生化学的再発 前立腺がん	米国/欧州/アジア P-Ⅲ			効能追加
		転移性ホルモン感受性 前立腺がん	米国/欧州/ 日本/アジア P-Ⅲ			効能追加
		トリプルネガティブ乳がん	米国/欧州/ 日本/アジア P-Ⅲ			効能追加
		乳がん (ER/PgR陽性、 HER2陽性)	米国/欧州 P-Ⅱ			効能追加
		肝細胞がん	米国/欧州/アジア P-Ⅱ			効能追加
ASP0113 (VCL-CB01)	サイトメガロウイルス DNAワクチン	造血細胞移植時の サイトメガロウイルス感染抑制	米国/欧州/日本 P-Ⅲ	注射	Vical	
YM905 ソラフェニン	ムスカリンM ₃ 受容体拮抗剤	小児の 神経因性膀胱	米国/欧州 P-Ⅲ	経口	自社	効能追加 (小児)
EB178 ソラフェニン/ ミラベグロン	ソラフェニンと ミラベグロンの 併用療法	過活動膀胱における 尿意切迫感、頻尿 及び切迫性尿失禁	米国/欧州/アジア P-Ⅲ	経口	自社	
フィダキソマイシン	大環状抗菌剤	感染性腸炎 (適応菌種： クロストリジウム・デファイシル)	日本 P-Ⅲ	経口	Merck	
		小児における クロストリジウム・ デファイシル感染症	欧州 P-Ⅲ			効能追加 (小児)
ASP015K peficitinib	JAK阻害剤	関節リウマチ	日本/アジア P-Ⅲ 米国/欧州 P-Ⅱ	経口	自社	

(2) 第三相～第二相(2/2)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ASP1517 (FG-4592) ロキサデュスタット	HIF安定化剤	慢性腎臓病(保存期及び 透析期)に伴う貧血	欧州 P-III 日本 P-III	経口	FibroGen	
ASP2215 ギルテリチン [®]	FLT3/AXL阻害剤	急性骨髄性白血病	米国/欧州/ 日本/アジア P-III	経口	自社	
		非小細胞肺癌	米国/ 日本/アジア P-I			
ASP8273	変異選択的 非可逆 EGFR阻害剤	非小細胞肺癌	米国/欧州/ 日本/アジア P-III	経口	自社	
YM178 ミラベグロン	β_3 受容体 作動薬	小児の神経因性膀胱	欧州 P-III	経口	自社	効能追加 (小児)
YM311 (FG-2216)	HIF安定化剤	腎性貧血	欧州 P-II 日本 P-I	経口	FibroGen	
ASKP1240 bleselumab	抗CD40抗体	生体腎移植患者における 再発性巣状糸球体硬化症	米国 P-II	注射	協和発酵 キリン	
ASP1707	GnRH受容体 アンタゴニスト	子宮内膜症	欧州/日本 P-II	経口	自社	
		関節リウマチ	日本 P-II			
ASP8232	VAP-1阻害剤	糖尿病性腎症	欧州 P-II	経口	自社	
CK-2127107	速筋トロポニン 活性化剤	脊髄性筋萎縮症	米国 P-II	経口	Cytokinetics	
		慢性閉塞性肺疾患	米国 P-II			
ASP7962	TrkA阻害剤	変形性関節症	欧州 P-II	経口	自社	
AGS-16C3F	ENPP3を 標的とするADC	腎細胞がん	米国/欧州 P-II	注射	自社 (ADC技術を Seattle Genetics から導入)	
RPE細胞 プログラム	細胞治療 (網膜色素上皮 細胞)	萎縮型加齢黄斑変性、 Stargardt病	米国 P-II	注射	自社 (Astellas Institute for Regenerative Medicine)	
ASP8062	GABA _B 受容体 陽性アロステリック 修飾物質	線維筋痛症	米国 P-II	経口	自社	
ASP0819	カルシウム活性化 カルシウムチャネル 開口薬	線維筋痛症	米国 P-II	経口	自社	

2. ローカル開発品：日本

(1) 承認

開発コード 一般名	製品名 (承認時期)	薬効/ 作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
ASP1585 (AMG 223) ヒキサロマー	キックリン顆粒 (2016年9月)	アミン機能性 ホリマー	慢性腎臓病患者に おける高リン血症の 改善 (顆粒製剤)	日本	経口	Amgen	剤形追加

(2) 申請中

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ASP7374	インフルエンザ ワクチン	季節性インフルエンザ の予防	日本 申請 (2014年5月)	注射	UMNファーマ	
ASP0456 リナクロト [®]	グアニル酸 シクラーゼC受容体 作動薬	便秘型過敏性腸症候群	日本 申請 (2016年2月)	経口	Ironwood	
FK949E クエティピ [®]	セロトニン・ドパミン 拮抗剤	双極性障害における うつ症状の改善 (徐放錠)	日本 申請 (2016年8月)	経口	AstraZeneca	

(3) 第Ⅲ相～第Ⅱ相

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ASP3550 テガレリクス	GnRH受容体 アンタゴニスト	前立腺がん (3か月製剤)	日本 P-Ⅲ	注射	Ferring	剤形追加
AMG 785 romosozumab	抗スクロスチン抗体	骨粗鬆症	日本 P-Ⅲ	注射	Amgen [アステラス・ アムジエンと 共同開発]	
イプラグリフロジン/ シタグリプチン	イプラグリフロジンと シタグリプチンの 配合剤	2型糖尿病	日本 P-Ⅲ	経口	自社 [MSD、 寿製薬と 共同開発]	
ASP1941 イプラグリフロジン	SGLT2阻害剤	1型糖尿病	日本 P-Ⅲ	経口	自社 [寿製薬と 共同開発]	効能追加
ASP0456 リナクロト [®]	グアニル酸 シクラーゼC受容体 作動薬	慢性便秘	日本 P-Ⅲ	経口	Ironwood	効能追加
ASP7373	インフルエンザ ワクチン	インフルエンザ (H5N1)の予防	日本 P-Ⅱ	注射	UMNファーマ	
AMG 103 ブリナツママブ [®]	抗CD19 BiTE抗体	急性リンパ性白血病	日本 P-Ⅱ	注射	Amgen [アステラス・ アムジエンと 共同開発]	

3. 第 I 相

開発コード 一般名	対象疾患	剤形	自社/導入
ASP3662	アルツハイマー病	経口	自社
ASG-22ME enfortumab vedotin	固形がん、尿路上皮がん	注射	自社 [Seattle Geneticsと共同開発]
ASG-15ME	尿路上皮がん	注射	自社 [Seattle Geneticsと共同開発]
ASP5878	がん	経口	自社
AGS67E	悪性リンパ腫	注射	自社 (ADC技術をSeattle Geneticsから導入)
ASP2205	腹圧性尿失禁	経口	自社
ASP5094	関節リウマチ	注射	自社
ASP4132	がん	経口	自社
ASP4345	統合失調症に伴う認知機能障害	経口	自社
ASP6282	低活動膀胱	経口	自社
ASP4070 (JRC2-LAMP-vax)	スギ花粉症	注射	Immunomic Therapeutics
ASP7398	夜間頻尿	経口	自社
ASP6294	膀胱痛症候群/間質性膀胱炎	注射	自社
ASP7266	重症喘息	注射	自社
ASP0892	ヒーナッツアレルギー	注射	Immunomic Therapeutics
AGS62P1	急性骨髄性白血病	注射	自社 (EuCODEを用いたADC技術を Ambrxから導入)
ASP1807 (CC8464)	神経障害性疼痛	経口	Chromocell
ASP8302	低活動膀胱	経口	自社

4. 開発中止

(1) 一部適応での開発中止

開発コード	対象疾患	開発段階 地域	理由
ASP0113 (VCL-CB01)	臓器移植時の サイトメガロウイルス感染抑制	米国/欧州 P-II	第II相試験において、主要評価項目が達成されなかった。
ASP8232	糖尿病黄斑浮腫	米国 P-II	第II相試験において、主要評価項目が達成されなかった。
ASP3662	糖尿病性神経障害性疼痛	米国 P-II	第II相試験が有効性に関する無益性の解析により中止された。

5. その他、前回の決算発表時(2016年7月29日)からの変更箇所

- ・欧州において審査が完了した小児の過活動膀胱に関するソリフェナシンの記載を削除した。